

掛川地域力向上委員会総会が開催されました

平成29年度掛川地域力向上委員会総会が5月13日(土)に掛川小学校体育館で開催されました。昨年度の事業報告や今年度の役員選出、事業計画などが協議され、出席者112名の皆さんにより承認されました。総会の中では、子どもたちによる和太鼓やバレエが披露されるなど、心温まる一幕もありました。



年度末には素晴らしい掛川マップが完成し、皆さんに配付されました。掛川の歴史や自然など、たくさんの魅力をPRするとともに、「住みよい掛川」を合言葉に、これからも皆さんの協力のもと、頑張っていきたいと思っております。
(会長・加藤俊男)



子育て支援の地域の連携、「お助けたい」の支え合う心、おもてなしの第一歩である環境美化、地域の魅力を再発見するマップづくり、そのどれもが瀬戸市が目指すまちづくりの方向性そのもので、感無量の思いでした。
(瀬戸市長・伊藤保徳)



平成28年度事業報告

- 広報活動 広報「やまびこ」6回、号外3回発行
- 子育て支援活動 放課後学級「かけがわっ子ひろば」、登下校見守り、学習田のサポートなどにより、瀬戸市教育委員会より感謝状を受ける。
- 高齢者支援 「お助けたい」発足(37名登録、8回活動)
- 地域コミュニティ活動 花壇7か所に植栽2回、ごみ拾い2回、講演会、イラスト入り「掛川マップ」5千部作成など
- 防災活動 過去の災害記録DVDの鑑賞など
- その他 筍まつり、掛川スポーツフェスタなど

掛川マップが 完成しました

昨年度末に掛川マップが完成し、すでに全戸配布されました。今後は市内外の主要施設などにも置かせていただき、掛川の良さを発信していきます。

なお、親戚や友達などに差し上げたいとの希望があれば事務局までお申し出ください。



すでに、何件かそのような問い合わせがあり、中には写生画グループのみんなに配りたいのだけではないかとの依頼もあって、お渡ししています。

総会出席者に絵はがきを プレゼントしました



定光寺町水野金光さんに描いてい

ただいたほのぼのとした掛川マップのスケッチ画をもとに、絵はがき40種類を作成しました。5月13日の掛川地域力向上委員会総会では、出席した方全員にこのうち2種類ずつをプレゼントしました。

今後は5枚一組200円で頒布する予定です。希望者は事務局までお問い合わせください。この絵はがきを使って、知人・友人、親戚の方々にお便りを出していただければ掛川の良さを発信することにつながると思います。

デマンド型タクシー運行の社会実験が始まります

昨年10月に引き続いて、第2回目の「デマンド型タクシー運行社会実験」に向けての協議が去る2月24日、定光寺町民会館で地域の代表者や住民との間でもたれました。利用する側の意見・要望なども取り入れ、細かい調整などをしたうえで社会実験に取り組むことが正式に決まりました。概要は次の通りです。

詳しくは自治会を通して配布・回覧されたチラシを参照してください。問い合わせは瀬戸市都市計画課へ。(0561-88-2666)

- ・実験運行期間は7月1日(土)～12月28日(木)
この間のコミバスは運休します。
- ・予約制の乗り合いタクシーで、利用料金は一人片道300円
- ・利用予約は行き帰りとも前日15時までになしてください。
- ・運行時間はおおよそ固定された時刻表によるが、自宅近くで乗り降りできます。
- ・この社会実験は下半田川線のみで実施し、曽野線など他ルートへの乗り継ぎは一往復のみ無料です。(乗り継ぎ券必要)

皆さんの自宅まで送迎します



跳ね繰り備中

下半田川町で昔ながらの跳ね繰り備中を使って畑を耕している風景に出会いました。昭和30年代頃まではさかんに使われていたもので、3本爪と4本爪のものがありました。今でもこうした昔ながらの道具が残っている農家があります。70歳以上の方なら子供時代にこの道具で田おこしを手伝った経験者もいるでしょう。なかなかの優れもので、当時としてはずいぶん農作業の省力化がはかられたものと思われます。

近くで見ていた子どもたちが興味を示し、使い方を体験させてもらっていました。



見通しがよくなりました

県道下半田川春日井線は、掛川公民館東側の所の見通しが悪く事故も起きていました。このたび、定光寺町自治会と定光寺カントリークラブの尽力で見通しを悪くしている樹木を伐採していただき、公民館への出入りも大変楽になりました。

引き取ります / 差し上げます

プリンターを買い替えたりして、使えなくなったインクカートリッジが残っている方はいませんか？使い道のなくなったインクカートリッジをそのままにしておくのはもったいないですね。事務局で引き取り、ほしい方に無償で差し上げます。ご一報ください。

だれか、ほしい人はいませんか？

現在、事務局に寄せられているインクカートリッジ

- ① EPSON 純正品 Colorio 50
- ② CANON 純正品 PIXSUS 7e/9
- ③ CANON 純正品 PIXSUS 320/321
- ④ CANON 純正品 PIXSUS 325/326



オオサンショウウオとヌートリア

下半田川町の日向川にもオオサンショウウオが棲息しています。同じ場所にはいつのころからかヌートリアも棲み着いています。

4月5日、夕方5時ごろのことです。日向川近くで農作業をしている地元の知人からオオサンショウウオがヌートリアを捕食しているとの知らせがありました。ヌートリアはまだ子どもで、頭部がすでに口の中にくわえ込まれていました。オオサンショウウオはなかなか飲みこめないで苦労している様子でした。一旦その場を離れ1時間後に再び見に行ったところ、ようやく体全体が口の中に入り、しっぽだけがのぞいている状態でした。オオサンショウウオは体長1m、ヌートリアの子どもはオオサンショウウオの頭より一回り大きい個体でした。ふだんはサワガニや小魚などを餌としているのに、こんなにも



川原で草を食べているヌートリア



ヌートリアを捕食中のオオサンショウウオ
水かきのついたヌートリアの後ろ足としっぽが口の外に見えている。

白花の植物

通常は黄色や紫色の花の植物が時には白花を咲かせていることがあります。あまり見かけないので珍しいですね。

写真上は白花のショウジョウバカマ（定光寺町）、下の左側は白花タンポポ（下半田川町）です。



も大型の動物にくらいついているのを見たのは初めてでした。

彼はこれで1か月は餌にありつけなくても大丈夫かと思われま

フンブクチャガマ

青葉も次第に色濃くなりはじめた4月の終わりごろ掛川小学校駐車場北側の雑木林で小さなリンゴのような実がいっぱいついていました。よく見るとコナラの幼木に着いた虫こぶちゅうえい（虫癭）でした。

この地方ではかつて「ぶんぶく茶釜」などと呼んでいました。果物そっくりでおいしそうに見え、昔は子どもたちがちぎったりかじったりして遊んだものです。

虫癭は虫の寄生や産卵による刺激で植物組織が異常に発育したもので、口にしない方がいいです。



大きいものは直径2~3cm
くらいになります。



第11回筍まつり



4月23日(日)、恒例の筍まつりが定光寺公園にて盛大に行われました。朝からの抜けるような青空と新緑のもと、たくさんの方が筍の廉売に押し寄せ、205袋用意した筍(1袋約2kg入り)がわずか15分ほどで完売しました。地元の女性が腕を振るって作ったワカケ汁が無料で振舞われ、大好評でした。

今年は筍が不作のため集荷量は例年の半分以下で、売り上げは61,500円でした。

前日の筍掘り作業に加わっていただいた方、当日のまつりに携わっていただいた方、そして筍提供者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



田おこし体験



5月12日、掛川小学校の学習田で田植えにそなえて田おこしが行われました。全校児童38名全員が耕運機の操作体験をしました。指導したのは地元の学校サポートメンバーの皆さん。

高学年の児童は今までに何度も経験しているのか、手慣れた手つきで作業していました。

ふるさと探訪ウォーキング

掛川マップを使って、ふるさと探訪ウォーキングを公民館と共催で実施します。お申し込みは掛川公民館へ。両町のみどころの解説を聞きながら巡ります。たくさんの方のご参加をお待ちしています。掛川地区以外の方を誘っていただいてもかまいません。

☆ 下半田川町巡り 日 時 6月3日(土) 午前9時 下半田川町民会館集合
11時30分ころ解散

☆ 定光寺町巡り 日 時 12月2日(土) 午前9時 コミバス定光寺東バス停集合
11時30分ころ解散

☆ 持ち物 掛川マップ、水筒、汗拭きなど

*参加費無料 詳細は掛川公民館までお問い合わせください。

総会の折、実施時期と場所について6月が定光寺町、12月が下半田川町と発表しましたが逆でした。上記の日程が正しいので訂正いたします。



会員の声 私の自己実現

下半田川町 安藤安明

日頃から地域の環境美化活動のリーダーとして活躍していただいている安藤さんからはいつも前向きで明るく、生き生きしたオーラを感じます。健康年齢を上げるにはどうしたらよいか体験に基づいた自己実現の一端を述べてもらいました。

私は下半田川町の安藤安明といます。健康年齢を上げるには一般的には何でもバランスよく食べ、十分な睡眠をとり、脳を活性化するような運動と仕事をしていればいい結果が生まれ、一日一日を楽しく過ごすことができるようになるといわれています。しかし、実際にはこのようなことがなかなか継続されないのはどうしてでしょうか？

私自身の体験談を話させてもらいます。

今から8年前、体調が悪く病院で検査をしたところ、先生から「糖尿病です。入院されますか？」と言われ、ものすごくショックを受けました。当時の数値はヘモグロビンA1C11.0、食事後3時間の血糖値230、体重73.0Kgでした。先生と相談し、入院こそしませんでした。「食事療法と軽い運動、そして禁煙」のプログラムを作ってくださいました。その後8年間禁煙を続けながらそのプログラムをこなしています。現在はA1C6.5、血糖値100、体重67Kg、一般の人となんら変わらない数値まで下がりました。健康で仕事をしながらゴルフもやり、毎日楽しく過ごしています。どうして続けられたか。自分自身で数値目標を設定し、月1回の定期検診の際、先生が数値を見ながら「ものすごくがんばっているわ。だんだん数値が下がって

る。」と私のやったことに対し正当な評価をしていただいたことが励みになり、現在に至っています。よく病院の先生から冗談交じりに「安藤さん、糖尿病数値改善体験発表会ができますよ。」と言われ、最近では自分で工夫を加え、股関節・肩甲骨・膝の柔軟ストレッチを取り入れることにより、数値改善により自信がもてるようになりました。やったことに対してよい結果が出ると人は欲が出てきます。その欲がその人の人生観に大きく関わってくるように思います。

日本人の健康寿命の平均は男性71.6歳女性が75.9歳と聞いています。軽い運動とストレッチをすることで男女ともに8~10年は伸びるのではないかと思います。医療費削減にもつながり、掛川地区の若い人たちが将来に向かって少しでも希望がもてるようになればと思います。

現在、ゴルフ場に勤めていますが、一線を退いた後の8年間の体験をベースに、健康管理関連のインストラクターの資格をとり、将来、掛川地区の健康年齢を上げるためのボランティア活動をしたいと思っています。

その時は皆さんと一緒に健康年齢を上げましょう。



編集後記



今年度は、以下7名の広報部員で「やまびこ」の紙面づくりにあたります。どうぞよろしくお願いいたします。

稲垣幸子、柴田昌乃、高野和人、富田 彪、富田幹夫、欄 穂高、村井秀子